

地域医療連携システム

北はりま絆ネット

「北はりま絆ネット」は、平成 23 年 12 月からモデル運用を開始し、北播磨圏域内の病院、診療所、介護老人保健施設をつないでいます。

「北はりま絆ネット」とは

患者さんの診療情報の一部を、本人の同意のもと、安全性に十分配慮しながら関係する医療機関で共有するシステムです。

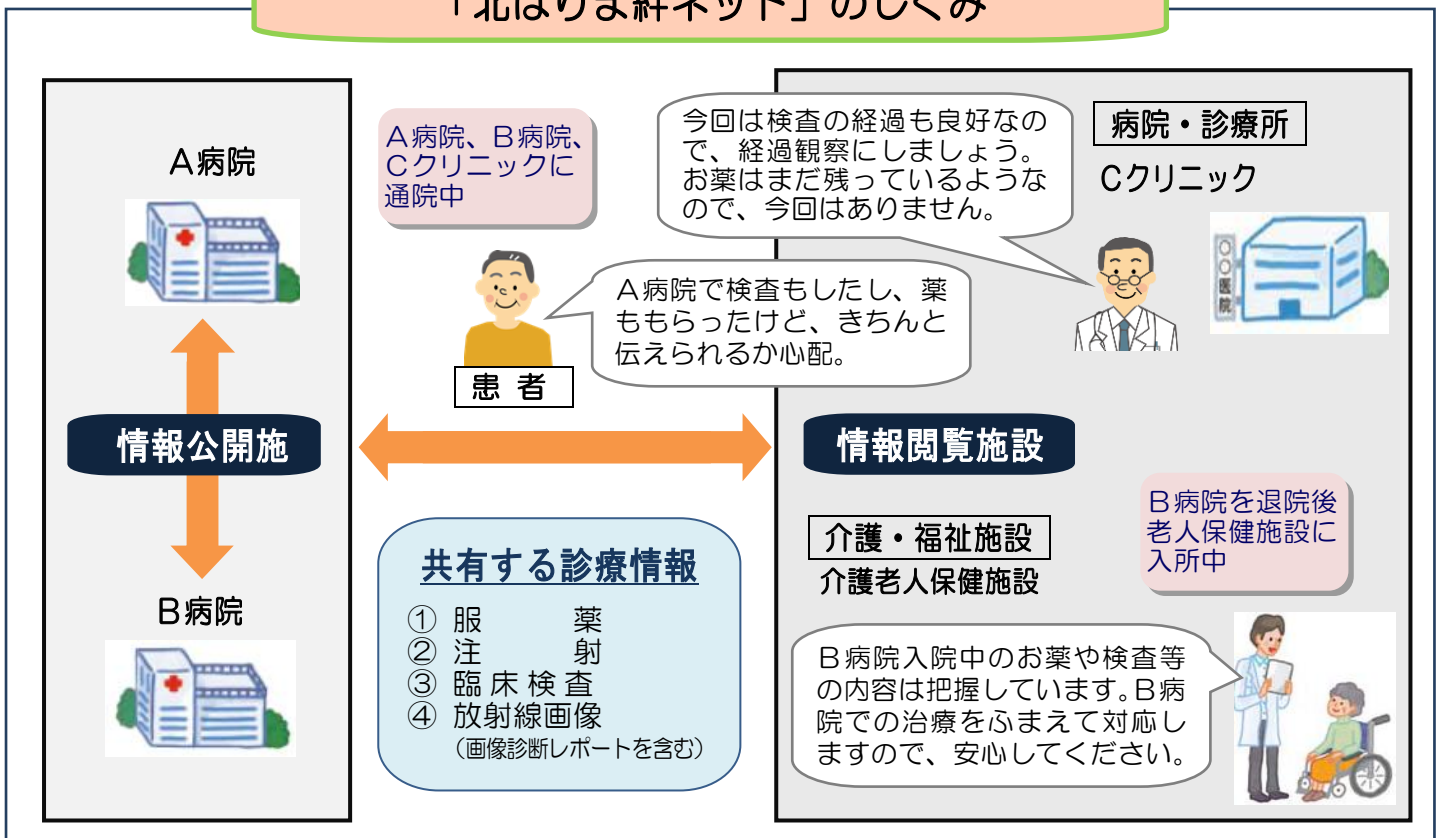
「北はりま絆ネット」のポイント

- 参加の有無は患者さん一人一人の自由です。患者さんの同意のもと、患者さんが指定した医療施設でのみ診療情報を共有します。
また、途中で参加をやめることもでき、今後の診療への不利益は全くありません。
- 診療情報は暗号化され、個人情報保護されたインターネット回線を使用しており、情報は厳重に守られています。
- 患者さんの利用料金の負担は、ありません。

「北はりま絆ネット」利用のメリット

- 情報公開病院におけるあなたの診療歴を参照できるため、医療の継続性が向上します。
- お薬や検査の重複を防ぐことができます。
(再確認や経過観察の目的で再度同一の検査を行うこともあります。)

「北はりま絆ネット」のしくみ



よくあるご質問

Q. 「北はりま絆ネット」の目的は何ですか？

A. 患者さんの同意に基づき、北播磨圏域（西脇市、三木市、小野市、加西市、加東市、多可町）の複数の医療機関で医療情報を共有することにより、緊密な医療連携を行うことを目的にしています。

Q. 患者さんにどんなメリットがありますか？

A. 診療情報を公開している病院（情報公開施設）から出たお薬や注射、血液検査の結果、画像検査などを、かかりつけ医などの医療施設で閲覧することができ、薬や検査の重複を避け、医療費の負担が軽減されます。

また、これまでの治療経過を把握することができ、より良質な継続的ケアが可能になります。

Q. 「北はりま絆ネット」を利用すると費用はかかりますか？

A. 患者さんやご家族には、利用料金は一切かかりません。

Q. 「北はりま絆ネット」への参加を止めたい時はどうすれば良いですか？

A. 参加同意書と一緒にお渡しする同意撤回書を提出いただければ、理由を問わずいつでも参加を中止することができます。また、参加を撤回しても、その後の治療において不利益を受けることは全くありません。

Q. どの病院で「北はりま絆ネット」が導入されているのですか？

A. 情報公開施設は、平成30年6月現在、西脇市立西脇病院、市立加西病院、加東市民病院、大山記念病院、北播磨総合医療センター、多可赤十字病院、服部病院、三木山陽病院、兵庫あおの病院となっています。

「北はりま絆ネット」に参加している病院や診療所等については、かかりつけ医にお尋ね下さい。

Q. 個人情報はどうに守られているのですか？

A. 患者さんの診療情報は、「北はりま絆ネット」においてのみ使用し、それ以外の使用や第三者への提供はありません。また、共有される情報について、医療従事者は法律上の守秘義務を課されており、無関係の者に情報を漏らすことはありません。

インターネット回線を介して情報を共有しますが、情報漏えいを防止する何重もの保護機能により、情報も暗号化されています。さらに、一般の端末からは接続出来ません。

なお、接続できる端末は特定されており、全て記録が取られています。

【注】事故や重病で、医療上必要な場合、緊急避難的な手続きとして同意なしで情報公開病院の診療情報を閲覧させていただくことがあります。

【「北はりま絆ネット」に関するお問い合わせ】

事務局：北播磨県民局加東健康福祉事務所 企画課 ☎ 0795（42）9355

